天塩町 地域おこし協力隊

活動報告：26年8月～9月期（第１回）

地域おこし協力隊　小林 慶太朗



写真：北更岸の牧草地にて、道路より (2026.08)

自己紹介と活動について

自己紹介



8月1日より着任しました、小林慶太朗と申します。
出身は神奈川県、祖父は利尻島の漁師でした。

天塩町に来てはや２ヶ月。秋になるにつれて、
なつかしい冬の気配を感じています。
いまは慣れていきながら、自分が天塩町に貢献できる
かたちを模索している真っ最中です。
よろしくお願いいたします。

活動における軸

a. 天塩町内の「叶えたいこと」に挑戦する

→ アイデアやお困りごとなど、
個人／企業問わずなんでもお声掛けください。

b. 天塩町の「豊かな自然」を残し、伝える

→ とても価値ある環境がここにはあります。
歴史として残していく仕組みづくりを、
町おこしに繋げていきたいと考えています。

８月～９月期主な活動のまとめ①

a. 町内の「叶えたいこと」に挑戦する（小林、佐久間）

◯ 旧啓徳小中学校の利活用

→ 天塩町として進めたいとのことで開始しました。
たくさんの方の思い出が詰まっている学校だからこそ、
天塩町全体で話し合っていく必要があると考えています。
この２ヶ月で、そのための土台づくりを行いました。

◯ テーマさがし

→ さまざまな方々と交流し、テーマを探しています。
10月から、２つのテーマで動き始めます。
・天の塩プロジェクト（仮称）
・天塩焼プロジェクト（仮称）
まだまだみなさんの「叶えたいこと」を募集中です。
ぜひ、なんでもお声掛けいただければと思います。



現在の啓徳小中学校玄関

８月～９月期主な活動のまとめ②



植生調査のようす



さく葉標本の例

b. 「豊かな自然」を残し、伝える（小林、佐久間）

○ 天塩町の植生調査

→ 天塩町には豊かな自然があるにもかかわらず、
近隣町と比べ、残っているデータが非常に少ないです。
いま、天塩の植生がどうなっているかの調査と、
記録に残す活動を、佐久間隊員とともに始めました。

○ 「植物標本館」の設立にむけた標本づくり

→ この活動において、ゆくゆくは、
”標本を残す場所／みんなで体験できる場所”
の設立を考えています。
まずは標本（さく葉標本＝押し花標本）の作法を、
第一人者である牧野標本館の先生に教えていただきました。

テーマ１：旧啓徳小中学校の利活用

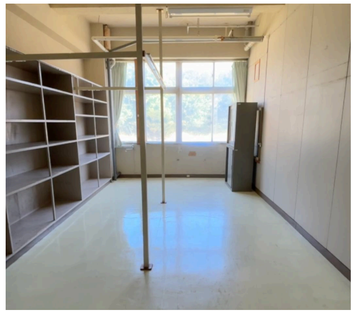
天塩町にとって、学校の公的な利活用は初めての試みです。
たくさんの思い出が根付いている場所だからこそ、天塩町内全体で話し合っていく必要があると考えています。
その前に準備として、わたしたちでできること（清掃や、現実的な面の下調べ、各所の調整 など）を進めています。

◯ 学校内の清掃作業

→ 時間のある際に、小林・佐久間で清掃に入っています。
（最初、廊下は虫だらけでした・・・）

清掃完了した部分







◯ 関連法律の調査と現状確認

→ 学校の再活用には、法律の壁が多くあります。
現状からどこまでできるのか／できないのかを、
各関連法律の内容を読み込んで、調査しました。

- 建築基準法（用途変更の手続き）… 用途変更申請が必要（200㎡以上）
- 建築基準法（工事の範囲）… 大規模改装でないならOK
- 耐震改修促進法 … 大規模改装でないなら耐震対応義務なし
- 消防法 … 用途変更先により対応の必要があり

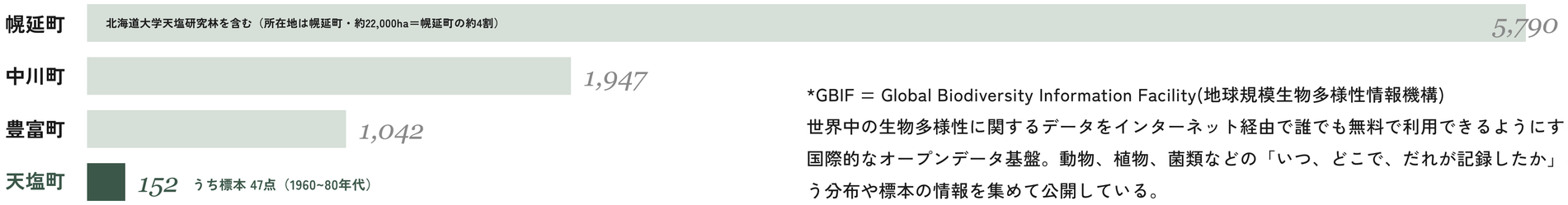
など…

地域にとってオープンで、色々なことに挑戦できる場所になったらいいな、と個人的には考えております。
地域のみなさんの思いや、意見をふまえながら、活用の可能性を探っていきたいと思っています。
進みはゆっくりかもしれませんが、進捗はまた報告いたします。

テーマ２：天塩町の「豊かな自然」を残し、伝える①

わたしたちが天塩町にきたきっかけのひとつは、その自然の豊かさです。
ここにはとても美しいものがあり、間違いなく町が誇れる価値の一つです。
しかし、天塩町は近隣の町と比較してもデータおよび調査の公式記録数が圧倒的に少ない、ということも分かりました。

GBIF*データベースにおける近隣町との植生記録数の比較



*GBIF ＝ Global Biodiversity Information Facility(地球規模生物多様性情報機構)
世界中の生物多様性に関するデータをインターネット経由で誰でも無料で利用できるようにする、国際的なオープンデータ基盤。動物、植物、菌類などの「いつ、どこで、だれが記録したか」という分布や標本の情報を集めて公開している。

数字（GBIF Occurrence Search・GADM行政界別・参照日2026年7月30日）　幌延町5,790件／中川町1,947件／豊富町1,042件／天塩町152件（うち標本47点）　帯（44.5–46°N）全体＝植物記録19,560件・うち標本6,856件

これを調査や標本などで見えるかたちにして、価値として町おこしに繋げることを考えています（可視化から価値化へ）。

一方で調査を続けていると、特定外来種などによりどんどん植生が変わっていってしまう可能性があることも分かってきました。
今後は、こういった外来種への対応なども含めて、活動していきたいと考えています。

テーマ２：天塩町の「豊かな自然」を残し、伝える②

◯ 天塩町植生調査の実施

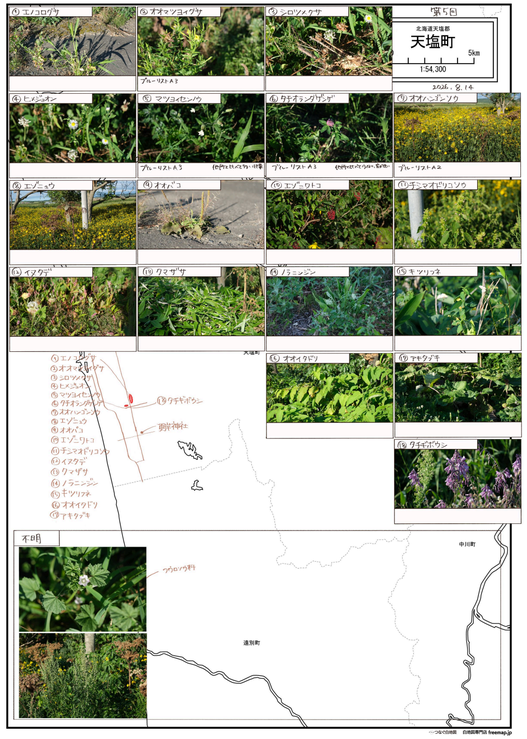
→ 小林と佐久間で実施を続けております。

（観察、記録、同定、まとめと考察 ＝ 佐久間担当 ／ 記録用アプリの開発と実装＝小林）



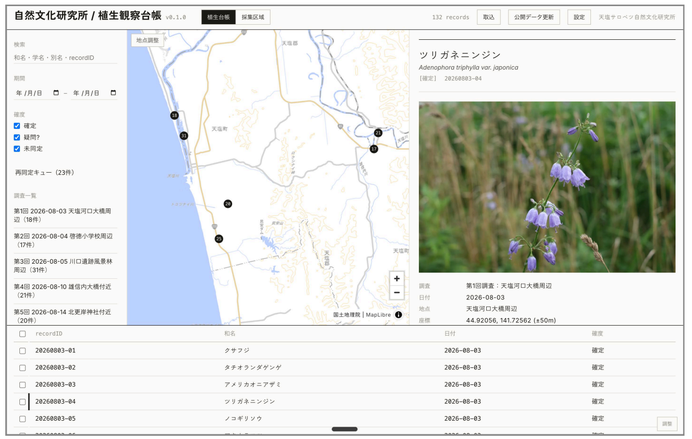
観察

（２～３時間／地点）



記録／考察／まとめ

（３～５時間／地点）



記録アプリ取り込み／データ化

（３～５時間／地点）

テーマ２：天塩町の「豊かな自然」を残し、伝える③

○「豊かな自然」の残し方

→「さく葉標本（押し花標本）」によって残していきます。これは学術的にも利用される、国際規格の標本です。

さく葉標本のつくりかた



採集



剪定



乾燥



台紙貼り付け



ラベル記入
（採集者名入り）



標本完成

三田市有馬富士自然学習センター「植物標本を作ろう」https://kippy-labo.jp/2021/08/27/shokubutuhyohon210824/より引用。

お子様から大人まで、誰でも楽しんでつくれる標本です。
後述の東京都立大学牧野標本館 加藤先生よりキット一式をご提供いただきましたので、
まずは小林・佐久間で始め、来年春～夏ごろを目処にワークショップ実施を目指します。



ご提供いただいた標本作成キット

テーマ２：天塩町の「豊かな自然」を残し、伝える④

○ さく葉標本についてのレクチャーと連携先づくり

→「さく葉標本（押し花標本）」について、日本で有数の標本館である東京都立大学 牧野標本館の、
加藤先生と連携できる形を整えました。（9/1 東京都立大学 牧野標本館への出張：小林・佐久間）

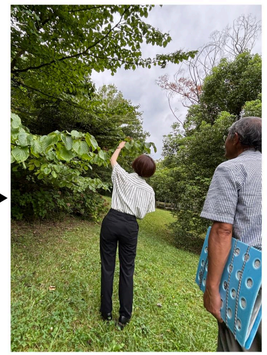


採集レクチャーの様子
（於：東京都立大キャンパス）

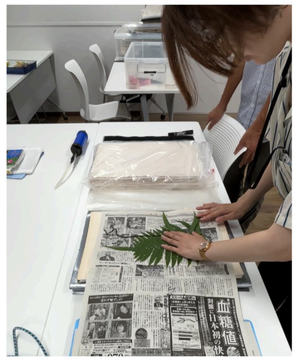




採集～剪定、新聞紙への配置決め
採取においての観察視点のレクチャー



樹木の採取方法レクチャー



乾燥前の成形



乾燥方法レクチャー



牧野標本館の職員による
台紙貼り付けの実演



さく葉標本完成



「さく葉標本作成キット」一式
ご提供いただきました

今後も牧野標本館へさく葉標本の一部をお送りすることで、
種の同定や標本作成のアドバイスをいただきます。
引き続き、他の連携先も増やしていこうと思います。

その他：写真関連の活動について

◯ 写真関連：暗室機能を整えました

→ 写真家として活動している側面もあり、自宅作業場に暗室機能を整備しました。
今後写真に関するワークショップなどで活用できるよう、準備していきます。
また、「フィルム写真をプリントしてみたい！」という方、お声掛けください。

◯ 写真関連：天塩町民文化祭への展示出品

→ 天塩町で見つけた豊かな景色を、大判カメラチェキで撮り溜めています。
この内数枚を天塩町民文化祭へ展示する準備を進めています。



町民文化祭への準備



自宅作業場（暗室設備）

さいごに：次の期間にやりたいこと／目標

◯ 旧啓徳小学校の利活用

→ ・利活用のための下準備 … 清掃と整理、活用の方向性や予算の具体化。
・活用についての対話の場づくり … 次の期間もしくは来年春にできるよう、調整中。

◯ 天塩町の植生調査と標本づくり

→ ・積極的な植生調査と標本づくり … 花のシーズンが終わってしまう前に出来るだけつくりたい。
・牧野標本館 加藤先生との連携 … 11月を目処にさく葉標本をお送りし、アドバイス等を対面でいただく。
・連携先づくり … 大学やNPO法人など、何らかの形で関わり合えるような連携先を探索していく。

◯ その他

→ ・「叶えたいこと」プロジェクト … ２つあるプロジェクトの推進と、あたらしいテーマの募集。
・写真に関するワークショップ … フォトウォークなど、天塩町のあらたな発見につながることを。
・AI活用に関するワークショップ … 希望があれば。個人から企業まで、時代の波に合わせた活用を。

あっという間に２ヶ月が過ぎてびっくりしています。がむしゃらにやって参ります。よろしくお願いいたします。　小林